

国際社会学部

澤田ゆかり

SAWADA, Yukari

地域社会コース／東アジア地域

社会保障論、労働経済学、社会政策、ジェンダー論



現代中国の経済と社会

1950年代から70年代末まで中国は計画経済という市場での取引を厳しく制限する経済制度のもとにありました。衣食住などの生活必需品は、政府が発行する配給切符をもっていなければ、いくらお金を積んでも買うことができませんでした。しかし80年代から対外開放政策に転じると、中国は高度経済成長の道を邁進します。世界中でmade in Chinaの製品が溢れるようになり、2010年には日本を抜いて世界第二の経済大国の地位を確立しました。豊かになった中国では国内の消費が急拡大して「世界の市場」と呼ばれ、さらには新たなイノベーションの拠点として注目を集めています。こうした中国の急激な台頭は、米国からの警戒と対立を喚起するいっぽうで、グローバル・サウスの存在感を高めてもいます。

研究紹介

専門は地域研究で、現代中国の経済社会を対象としています。なかでも華南地方（香港・広東省）をフィールドとして、改革開放期（1980年代から現在まで）の社会保障制度の転換を研究してきました。経済グローバル化の「勝ち組」である中国でも、競争力を失った国有企業のリストラは容赦なく進みました。また製造業からサービス部門へと産業構造が転換することで、非正規労働者の数が若者を中心に増えています。華南地方は香港と深圳特区を擁し、改革開放の当初からグローバル化の最前線であり続けた場所です。この地域を舞台に、香港製造業の中国大陸への移転と委託加工、この動きを支えた農村からの出稼ぎ女性、空洞化した香港製造業、中国の年金改革、失業保険、高齢者の社会保障、脱貧困と所得格差、NPOの社会活動、若者の就職難と雇用保険などを研究してきました。劇的に変化する中国の経済・社会を、働く人の目線から客観的かつ理性的に捉えたいと思っています。

担当授業

- 現代中国経済論
- 現代中国の経済
- 現代中国の経済と社会
- 現代中国の経済—デジタル・チャイナを考える
- 現代中国の経済—減速する中国経済を考える
- 経済活動と福祉国家

関連する分野

- 社会福祉論
- 移行経済論
- 社会政策論
- ジェンダー論

出版物

- 『習近平「一強」体制の行方：中国の課題と展望』
- 『高まる生活リスク：社会保障と医療』
- 『ポスト改革期の中国社会保障はどうか—選別主義から普遍主義への転換の中で』
- 『東アジアの社会大変動：人口センサスが語る世界』
- 『新興諸国における高齢者の生活保障システム』
- 『植民地香港の構造変動』

中国地域研究（現代）

「コロナ下におけるプラットフォーム経済の労働環境：ギグワーカーのリスクと権益保護の視点から」
 「香港における新型コロナの現状：第五波の衝撃と規制緩和への転換」
 『高まる生活リスク：社会保障と医療』
 『ポスト改革期の中国社会保障はどうか—選別主義から普遍主義への転換の中で』



国際社会学部

現代中国ゼミ



どのようなゼミか

本ゼミでは、現代中国に対する理解を深めることで、日本と世界について新たな視点を増やすことを目的としています。中国の経済・社会全般を対象としていますが、必要に応じて政治や外交に関わるテーマも扱います。また時代としては、1979年から現在にいたる改革開放期が中心です。主として中国大陸部と香港・マカオ、台湾が対象地域ですが、世界中の華人・華僑の居住地域もカバーします。

日本と比べると、現代中国の経済・社会は目まぐるしく変化しているように思えます。日本と比べると、三倍速から四倍速で街の様子が様変わりするだけでなく、ライフスタイルや価値観にも少しの間で大きなギャップが生じがちです。そのいっぽうで、古い伝統が根強く残る部分も少なくありません。

また広大な空間と長い歴史を経た中国では、自分の思い込みで都合の良い材料はいくらでも探し出せてしまいます。中国脅威論やその逆の崩壊論はいつでもマスコミを騒がせていますし、ネット上には怪しい陰謀の言説が溢れています（いうまでもなく、ネットと現実とは異なります）。

本ゼミでは、そのような複雑で多面性をもつ中国を分析するのに、どのような方法があるのか、信頼性の高い情報にどうアクセスするのかを複数のアプローチから学んでもらいます。自分の問題意識を大切にしながら中国問題を考えるリテラシーを高めることで、日本と世界に対する認識もさらに豊かなものになることでしょう。



写真（左）：税金や各種費用の負担を軽減して、経済成長のグレードアップを図るスローガン。量的成長から質的発展への転換を目指す。

写真（右）：香港の老人ホーム。中国でも少子高齢化は加速しており、すでに人口減少の局面を迎えている。世界最大の人口大国の座は、2023年に中国からインドへと移る見込み。

左：中国東北部の撫順炭鉱にて展示されていたチェコスロバキア製の機関車（製造時期：1950年代初）。2002年まで撫順炭鉱で現役で活躍した。

上：広州市の水上バス（広東省・中国南部）
写真出所：広州市の水上バス：撮影者 Nord794ub, CC BY-SA 4.0, [リンク](#)

卒論

- 中国の国有企業改革における元従業員及びその家族の意識変化
- 中国が目指す「共同富裕」の実態とリスク—浙江省モデル区事例から見る—
- 香港における「自由」と広東語の関係性—広東省の事例及び香港映画の盛衰から見る—
- 中国が目指す国際秩序とは何か—現代国際秩序の動揺とWTO紛争から
- 網紅経済の実態とその背景—中国の口コミ文化が経済社会に与えた影響
- 2014年の石油リグ「海洋石油 981」事件後の中越関係の改善
- 中国「国潮ブーム」はどのようにして形成されたのか
- 中国による内政干渉と見紛う「債務の罠」の背景
- 内モンゴル自治区におけるモンゴル語保持の課題

おススメの本

- クローバー『チャイナ・エコノミー：異形の超大国と世界へのインパクト—そのファクトとロジック』
- 丸川知雄『現代中国経済』
- 伊藤亜聖『デジタル化する新興国』
- 木村公一朗ほか『東アジアのイノベーション』
- 梶谷懐・高口康太『幸福な監視国家・中国』